

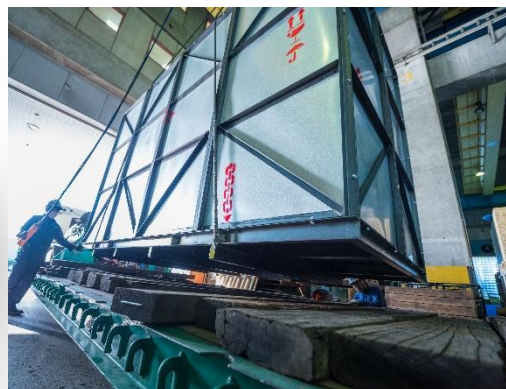
株式会社サンリツ 会社説明会

地球をつつむ思いやり
ロジスティクスパートナー サンリツ

2021年9月22日

東証1部

【証券コード：9366】



目次

- | | |
|---------------------|-----|
| 1. 会社概要 | P2 |
| 2. 梱包とは ~サンリツの生い立ち~ | P6 |
| 3. 業績推移と今後の事業展開 | P13 |
| 4. SDGsへの主な取組み | P25 |
| 5. 株主還元 | P28 |
| 6. まとめ | P31 |
| 7. Appendix | P34 |

1. 会社概要

1-1.会社概要

| | |
|-------|------------------------|
| 社名 | 株式会社サンリツ |
| 設立 | 1948年3月 (2018年 創業70周年) |
| 本社 | 東京都港区港南2-12-32 |
| 資本金 | 2,523百万円 |
| 売上高 | 15,210百万円(2021年3月期 連結) |
| 従業員数 | 426名(2021年3月末 連結) |
| 主要拠点 | 関東を中心に13拠点 |
| 連結子会社 | 国内1社、海外2社 (中国/米国) |
| 決算期 | 3月31日 |
| 上場 | 東京証券取引所 一部 (2007年3月1日) |

1-2.事業概要

梱包事業

- 小さな精密機器から超重量貨物までの梱包を多岐に渡り対応
- 製品形状や特質・送り先(国内外)・輸送状況を考え、製品の品質を保つ
- コスト的にも最善な梱包形態を提供

運輸事業

- 精密機器、電機通信機器、計測器、医療機器などエレクトロニクス関連の製品を中心に低コストで配送
- 協力会社のサポートによる全国配送も可能
- 引越など輸送に関わる幅広い業務を行う

倉庫事業

- 空調を完備した快適な環境
- 24時間フルタイム管理・警備対応
- 梱包工場としての機能を有しており、流通加工、開梱並行処理拠点として機能していることに加えて、取扱製品に応じた設備を有する

国際物流

- 保税蔵置場に梱包工場を併設
- 梱包から保税蔵置・通関そして港湾・空港への輸送にいたるまで自社で対応
- NVOCC(外航利用運送事業者)として船会社からスペースを買い取ることで、目的地までの最適な輸送方法を、一貫した運用責任の下、提供する

3PL

- 物流改革の提案を行い、物流業務を包括的に引受ける
- 高度な梱包技術と包装設計を駆使し、自社内での梱包、輸配送、保管、在庫管理、保税通関、エンドユーザーまで届けている

包装設計

- 取扱製品が多岐に渡るため、様々な包装技術・技法及び材料を採用している
- 地球環境保護問題に対応した包装技術・技法の改善、向上を図っている
- 常に新包装技術の開発を行っている

1-3.事業戦略

(1)ターゲット市場は企業間物流

- ◆ BtoB（企業→企業）の物流を主軸にビジネス展開

(2)競合他社を凌駕する高物流品質企業

- ◆ 工作機械の梱包を行う大型設備を保有
日・米の拠点において大型設備を保有し梱包を実施、
自社物流ライセンスで国際物流を展開
- ◆ 精密機器・医療機器物流のスペシャリスト
製品単価が高め、扱いがデリケート、
一品一様製品をターゲット
- ◆ 梱包分野において差別化
物を壊れないように守り抜く技術に強み

2. 梱包とは ~サンリツの生い立ち~

2-1. 梱包とは



商業包装(販売包装)



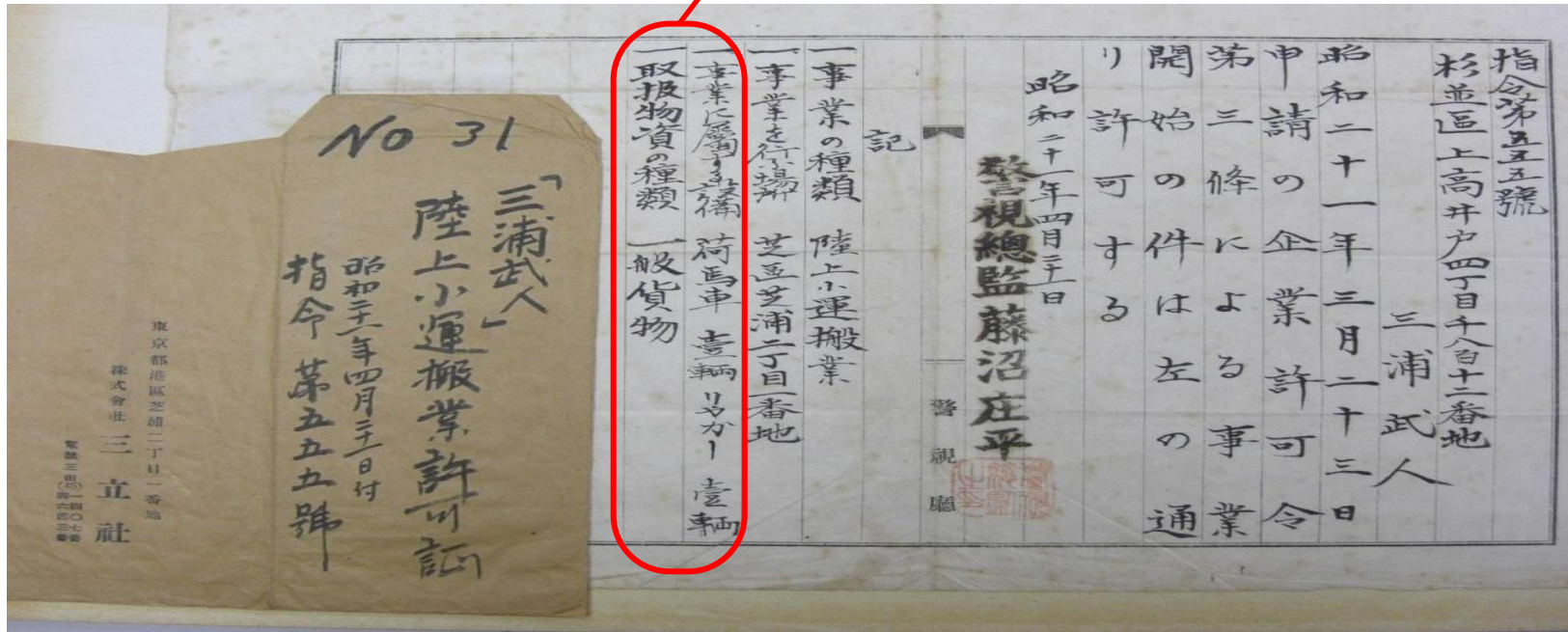
包装(広義)

工業包装 = 梱包

… 輸送時における製品の保護を目的とした包装

2-2.創業

始まりは、荷馬車1台、リヤカー1台



◆当時の事業環境：

- ・ 梱包は運送業サービスの中で「おまけ」のような立ち位置
- ・ 運送業界には「日本通運」という大きな存在があった。

⇒大手では出来ない小廻りの利く仕事…それは**梱包**！

2-3.創業当初の主要業務

～当社の財産である「信用」と「高い梱包技術」を築く～

◆進駐軍から搬入の特別仕様の梱包指名を受ける

- ・米軍の精密機器をミル規格に則って梱包
⇒当時の検査官から高い評価を受け、信用を得る

◆防衛庁(現防衛省)から精密機器の梱包・輸送の仕事を受ける

- ・精密機器を「防衛庁規格※」で梱包・輸送
※ミル規格を参考に作成された非常に厳しい規格。
⇒検査官の口コミで評価が広まり、顧客の信用を得る

◆2代目社長が、現JIS規格立案に参画、規格を作り上げる

2-4. 梱包の特性

① 保護性

最も経済的に機能を
発揮できるか

② 作業性

製造工程のレベルに
合っているか

⑤ 廃棄処理性

包装資材の廃棄処理が
容易にできるか

④ 販売促進性

お客様にとって、包装が
開けやすい形になっているか

③ 荷役性

現場で商品の取扱い
がしやすいか



2-5.製品や部品に合わせた梱包形態の提供が可能

◀ 軽量物

▶ 重量物

小型製品

- ・通信機器
- ・電子部品、製品 など

【段ボール梱包】



中型製品

- ・各種パーツ類
- ・電子製品
- ・医療機器 など

【強化段ボール梱包】



大型製品

- ・医療機器
- ・無線通信機器
- ・金型 など

【木枠・木箱梱包】



超大型製品

- ・工作機械 など

【鋼材梱包】



2-6. 多岐にわたる梱包ニーズを満たす包装設計、改善提案力

ワールドスター賞※ 3度受賞

※世界包装機構 WPO(World Packaging Organisation)のパッケージングコンテスト



- ◆2017年受賞
 検品工程低減／RFIDタグを利用したリターナブルBox
 - ・リターナブルによる廃棄段ボール削減⇒環境負荷低減
 - ・RFIDタグによる資産管理工数の削減



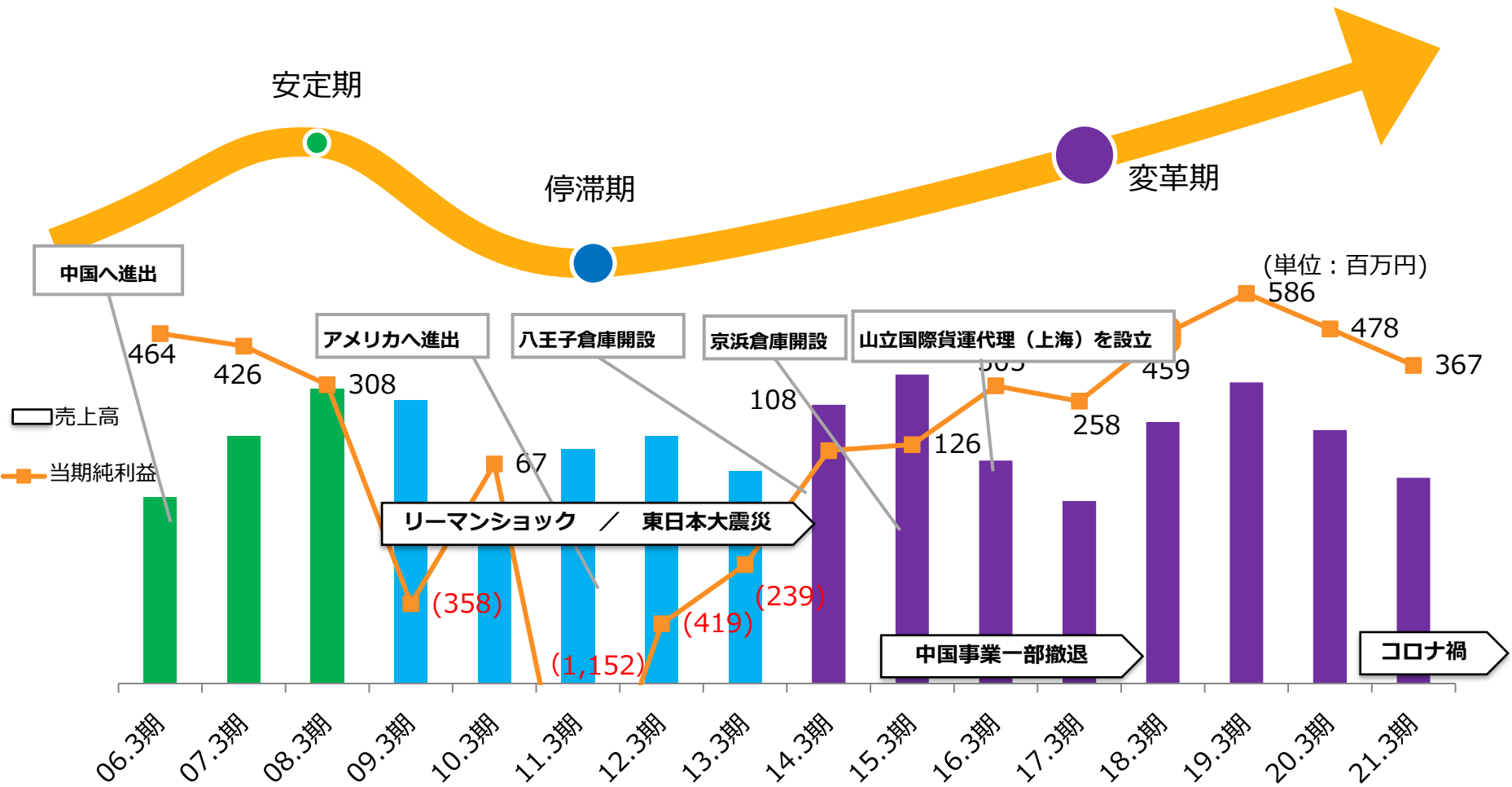
- ◆2018年受賞
 強化段ボールによる梱包作業及び環境負荷の低減
 - ・木の梱包をALL段ボールへ
 - ⇒一人で組み立て、作業工数削減
 - ⇒リサイクル可能、環境負荷低減



- ◆2021年受賞
 塗装乾燥時間短縮対応アルミホイール梱包箱
 - ・コーナー固定材とスペーサーを用いた梱包方法に仕様変更
 - ⇒塗装後の乾燥を待たずに梱包出荷が可能
 - ⇒納品までのリードタイムを短縮

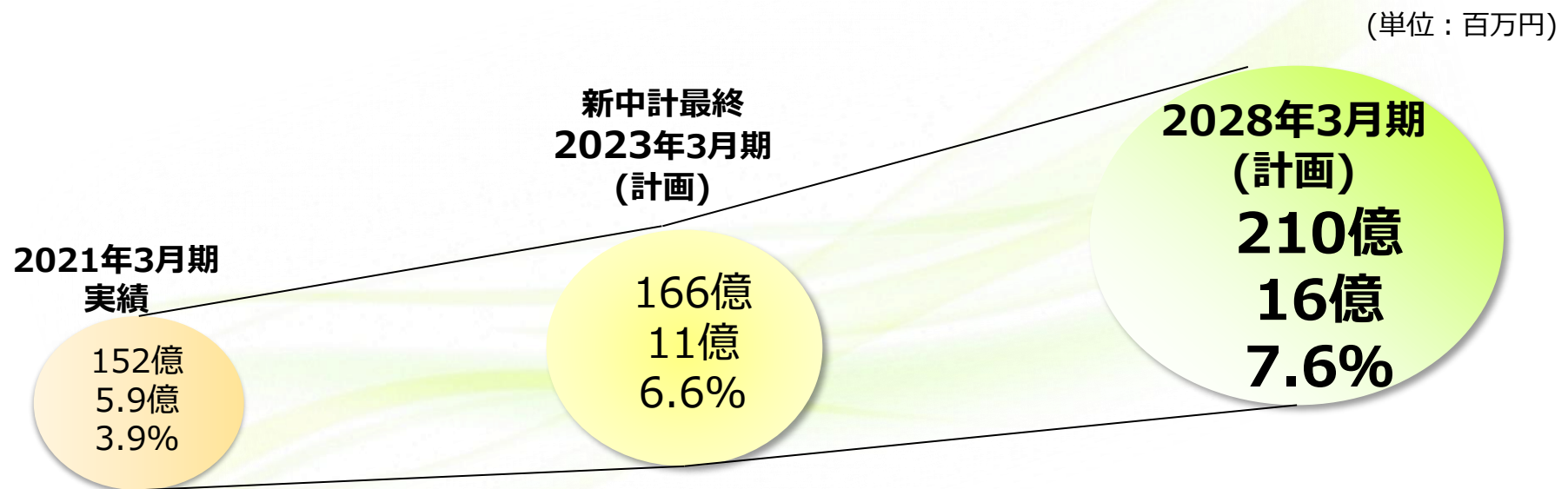
3. 業績推移と今後の事業展開

3-1.業績推移/収益体質改善、利益水準向上へ



3-2. 次期中計に向けて

- ・次期中計では、各部署とも今まで以上にソリューションの実現に向けて新しいチャレンジを行い、利益率の向上を図る。
- ・80周年を迎える2028年3月期の連結営業利益率の目標値を7.6%と定め、それまでの期間を2年-2年-3年と区切り、今回発表の2か年計画では営業利益率6.6%を目指す。



3-3-1.中期経営計画の概要

◆ビジョン(中長期的に目指す姿)

オペレーションから ソリューションへ

◆経営目標

| 期 間 | 2023年3月期 最終目標 | (参考) 2021年3月期 | 伸び率 |
|----------------------|---------------|------------------|---------|
| 2021年4月 ~ 2023年3月 | 売上高 16,600百万円 | 15,210百万円 | +9.1% |
| | 営業利益 1,100百万円 | 599百万円 | +83.6% |
| 配当方針 | 営業利益率 6.6% | 3.9% | +2.7pts |
| 30%目途 | R O E 7.3% | 4.4% | +2.9pts |

3-3-2. 事業戦略

【国内事業】

1. 精密機器/医療機器

- ・取引採算の向上
 - 既存顧客は取引領域の拡大を図る
 - 新規開拓は精密機器/医療機器に特化した専門チームを組成して取引拡大を図る
- ・顧客の生産効率向上に寄与するソリューションを提案
- ・既存拠点の再構築の検討をスタート(成田地区、多摩地区)

2. 工作機械

- ・海外子会社と連携したシームレスな国際一貫物流サービスを提供

【海外事業】

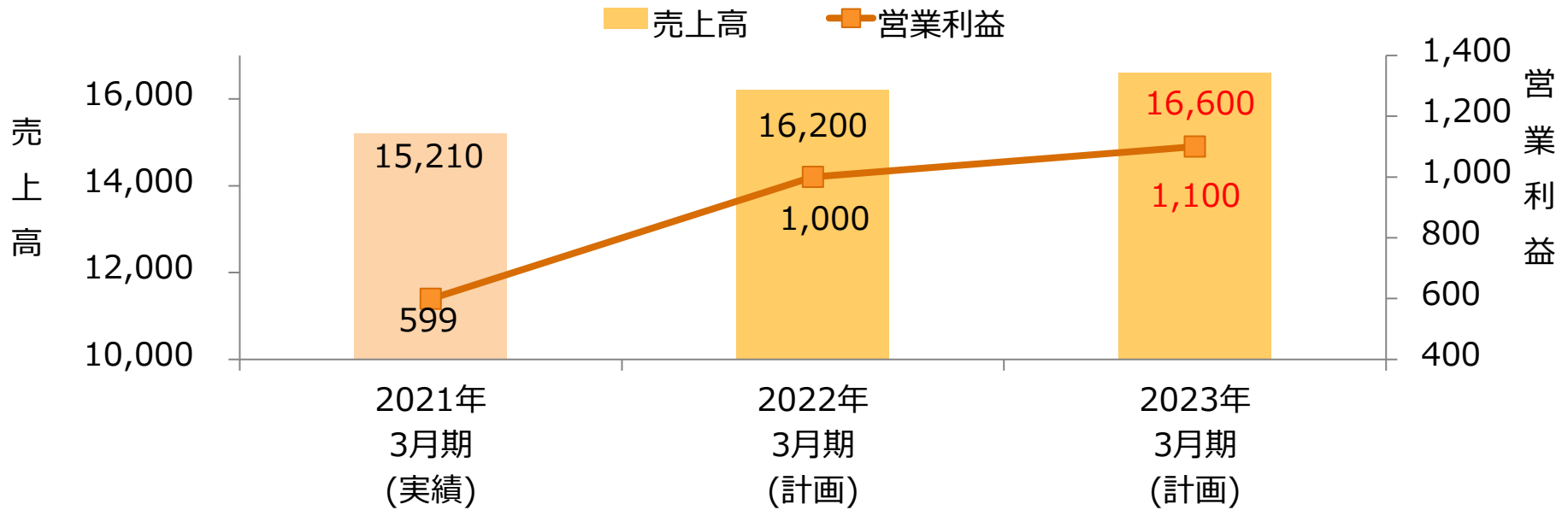
1. 米国西海岸に新倉庫を建設し、業容拡大を図る。
2. 顧客のグローバル製造における潜在的な物流課題の解決をサポート

【設備投資】

- ◆設備投資 2年総額25億円
 - 国内：基幹システムリニューアル+物流DX 10億円
 - 職場環境整備を含む設備投資 3億円
 - 海外：米国子会社(西海岸+東海岸)12億円

3-3-3. 経営目標(連結)

重要指標：2023年3月期 営業利益率6.6%の達成



(単位：百万円)

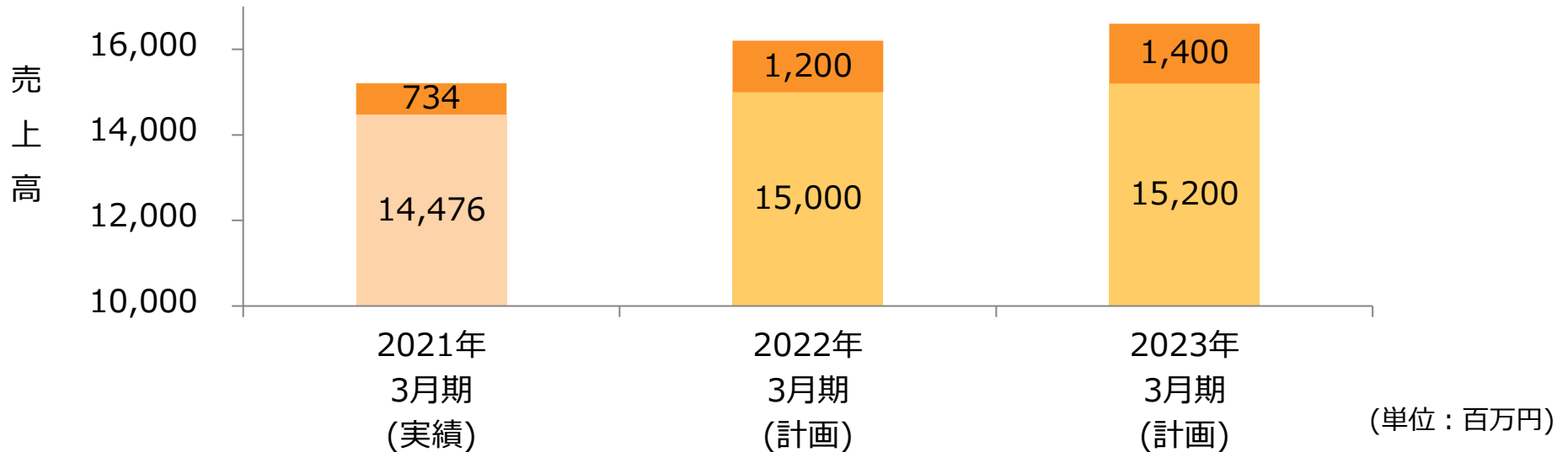
| 連 結 | 2021年3月期 (実績) | 2022年3月期 (計画) | 2023年3月期 (計画) |
|-----------|------------------|------------------|------------------|
| 売 上 高 | 15,210 | 16,200 | 16,600 |
| 営 業 利 益 | 599 | 1,000 | 1,100 |
| 営 業 利 益 率 | 3.9% | 6.2% | 6.6% |

3-3-4. 経営目標(国内海外比較)

重要指標：2023年3月期 営業利益率6.6%の達成

■ 国内売上高

■ 海外売上高



| 連結 | 2021年3月期 (実績) | 2022年3月期 (計画) | 2023年3月期 (計画) |
|-------|------------------|------------------|------------------|
| 売上高 | 15,210 | 16,200 | 16,600 |
| 国内 | 14,476 | 15,000 | 15,200 |
| 海外 | 734 | 1,200 | 1,400 |
| 営業利益 | 599 | 1,000 | 1,100 |
| 国内 | 599(4.1%) | 850(5.7%) | 920(6.1%) |
| 海外 | 0(- %) | 150(12.5%) | 180(12.9%) |
| 営業利益率 | 3.9% | 6.2% | 6.6% |

【参考】2022年3月期第1四半期 決算概要

～全段階で増益達成～

(単位：百万円)

| | 2021.3期 1Q | 2022.3期 1Q | 前期比 増減 | 前期比 増減率 |
|---------------------------------|------------------|------------------|-----------|------------|
| 売上高 | 3,491 | 4,242 | +751 | +21.5% |
| 売上原価 (売上原価率) | 2,796 (80.1%) | 3,269 (77.1%) | +473 | +16.9% |
| 売上総利益 (売上総利益率) | 695 (19.9%) | 973 (22.9%) | +278 | +40.0% |
| 販管費 (販管費率) | 637 (18.3%) | 657 (15.5%) | +20 | +3.1% |
| 営業利益 (営業利益率) | 57 (1.7%) | 315 (7.4%) | +258 | +447.1% |
| 経常利益 (経常利益率) | 43 (1.3%) | 349 (8.2%) | +306 | +697.8% |
| 親会社株主に 帰属する当期純利益 (当期純利益率) | 37 (1.1%) | 246 (5.8%) | +209 | +551.8% |
| 1株当たり 当期純利益(円) | 6.77 | 44.03 | +37.26 | +550.4% |

◆売上高：増収/営業利益：増益

- ・前年大幅に取扱いが減少していた工作機械が復調したことに加え、小型精密機器の取扱いも復調したことにより、売上高、営業利益ともに増加

【参考】2022年3月期第1四半期 取扱製品群別 決算概要

(単位：百万円)

| 取扱製品群 | | 2021.3期 1Q | 2022.3期 1Q | 構成比 | 前期比 増減 | 前期比 増減率 |
|-------|--------|---------------|---------------|--------|-----------|------------|
| 売上高 | 小型精密機器 | 1,720 | 1,937 | 45.7% | +216 | +12.6% |
| | 大型精密機器 | 635 | 725 | 17.1% | +90 | +14.2% |
| | 医療機器 | 433 | 475 | 11.2% | +42 | +9.7% |
| | 工作機械 | 514 | 903 | 21.3% | +389 | +75.6% |
| | その他 | 187 | 200 | 4.7% | +13 | +7.1% |
| | 合 計 | 3,491 | 4,242 | 100.0% | +751 | +21.5% |

◆小型精密機器：増収

- ・海上コンテナ不足による航空輸送への切り替えが押し上げ要因となり、航空貨物の取扱いが増加したことにより増収

◆大型精密機器：増収

- ・前年下期より引き続き半導体製造装置の取扱いが増加したことにより増収

◆医療機器：増収

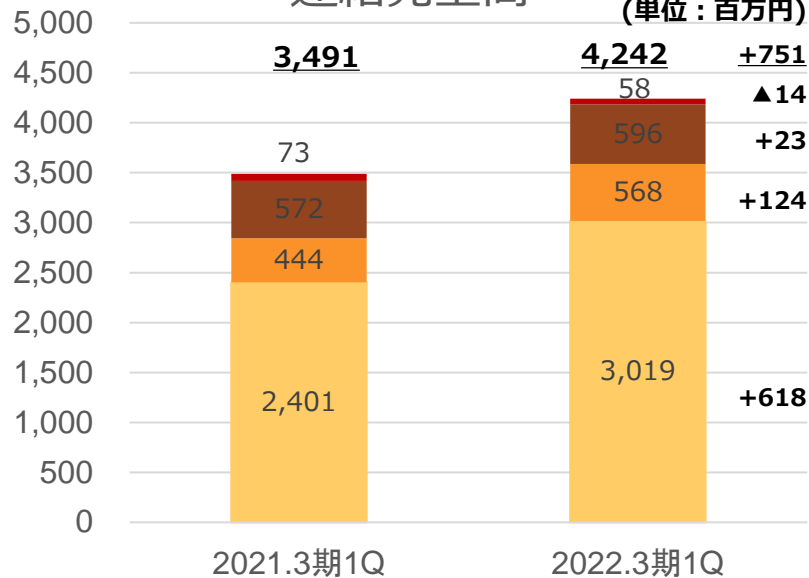
- ・前年取扱いが減少していたが、復調したことにより増収

◆工作機械：増収

- ・前年大幅に取扱いが減少していたが、復調したことにより増収

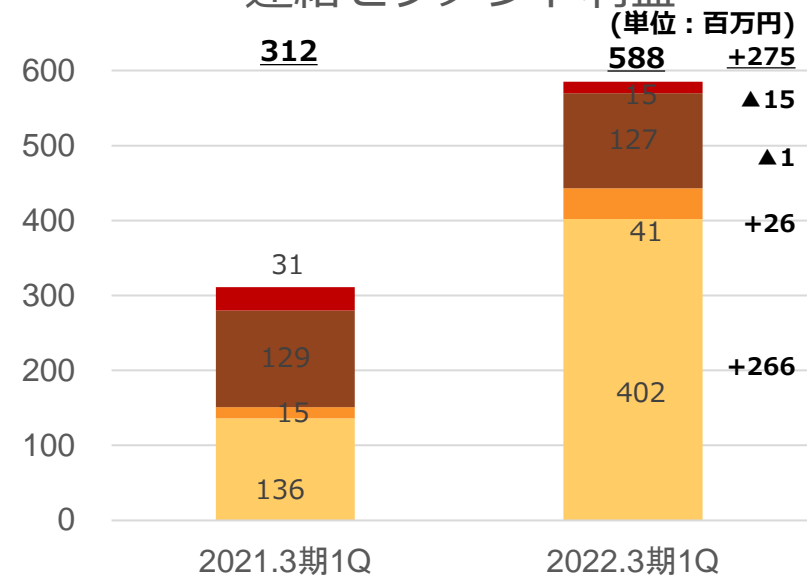
【参考】2022年3月期第1四半期 セグメント別 決算概要

連結売上高



■ 梱包 ■ 輸送 ■ 倉庫 ■ 賃貸ビル

連結セグメント利益



■ 梱包 ■ 輸送 ■ 倉庫 ■ 賃貸ビル

◆ 梱包事業：増収増益

- ・前年大幅に取扱いが減少していた工作機械が復調したことに加え、小型精密機器の取扱いも増加したことにより増収増益

◆ 運輸事業：増収増益

- ・前年大幅に取扱いが減少していた工作機械が復調したことに加え、医療機器及び小型精密機器の取扱いも増加したことにより増収増益

◆ 倉庫事業：増収減益

- ・半導体製造装置及び小型精密機器の取扱いが堅調に推移したことにより増収
- ・自家倉庫において修繕費が増加したことにより減益

【参考】 2022年3月期第1四半期 地域別売上高 決算概要

(単位：百万円)

| | 2021.3期 1Q | 2022.3期 1Q | 構成比 | 前期比 増減 | 前期比 増減率 |
|-----------|---------------|---------------|--------|-----------|------------|
| 日 本 | 3,291 | 3,974 | 92.9% | +683 | +20.7% |
| 中 国 | 20 | 18 | 0.4% | ▲2 | ▲10.0% |
| 米 国 | 220 | 284 | 6.6% | +63 | +28.9% |
| 内 部 取 引 等 | ▲40 | ▲34 | | +5 | |
| 合 計 | 3,491 | 4,242 | 100.0% | +751 | +21.5% |

◆日本：増収

- ・前年大幅に減少していた工作機械の取扱いが復調したことにより増収

◆中国：減収

- ・外部倉庫の解約により減収

◆米国：増収

- ・工作機械の取扱いが復調したことにより増収

【参考】 2022年3月期 業績予想

米中貿易摩擦や海上コンテナ不足の長期化による下押し要因は存在するものの、中国や米国経済の持ち直しを背景に、荷動きの回復を見込む。

(単位：百万円)

| | 2021.3期 | 2022.3期 予想 | 前期比 増減 | 前期比 増減率 |
|---------------------------------|---------------|-----------------|-----------|------------|
| 売上高 | 15,210 | 16,200 | 990 | 6.5% |
| 営業利益 (営業利益率) | 599 (3.9%) | 1,000 (6.2%) | 401 | 66.9% |
| 経常利益 (経常利益率) | 519 (3.4%) | 950 (5.9%) | 431 | 83.0% |
| 親会社株主に 帰属する当期純利益 (当期純利益率) | 367 (2.4%) | 600 (3.7%) | 233 | 63.5% |
| ROE (自己資本利益率) | 4.4% | 6.9% | 2.5pts | — |
| 1株当たり 当期純利益(円) | 65.79 | 107.32 | 41.53 | 63.1% |
| 1株当たり 配当(円) | 20 | 32 | — | — |

【参考】 ◆設備投資 21.3期実績 2.7億円 22.3期予想 18.8億円
 ◆減価償却 21.3期実績 6.9億円 22.3期予想 7.4億円

4. SDGsへの主な取組み

【参考】SDGsへの主な取組み① ～スポーツ振興～

◆概要

- 卓球部を1979年に創設 ・日本卓球リーグ女子1部に所属



◆直近の主な戦績

- 第30回日本卓球リーグ選手権・ビッグトーナメント熊本大会
第3位 永尾 堯子 ベスト8 松平 志穂
- 2021年度前期日本卓球リーグ千葉大会
第5位

◆卓球を通じた交流

- 現在コロナ禍のため実施できていませんが、過去には港区卓球フェスティバルや高等学校での講習会を開催するなど、卓球を通じて地域の方と交流を行ってきました。



港区卓球フェスティバル（港区スポーツセンター） 26

【参考】SDGsへの主な取組み② ～障がい者自立支援～

●サンリツ パラリンアートコンテストの開催



◆概要

・障がい者自立推進機構「パラリンアート事業」の「障がい者アーティスト自らが才能を糧に変え、経済的自立を目指すことを支援する」という理念に共感し、弊社のステートメントである「地球をつつむ 思いやり」をテーマに障がい者アーティストから作品を募集しました。

◆今後の展開

・受賞作品は、加盟している日本卓球リーグ実業団連盟のチームユニフォームやノベルティなどに起用し、障がいを持つ方々の自立に向けたやりがいの創出、社会進出を支援してまいります。



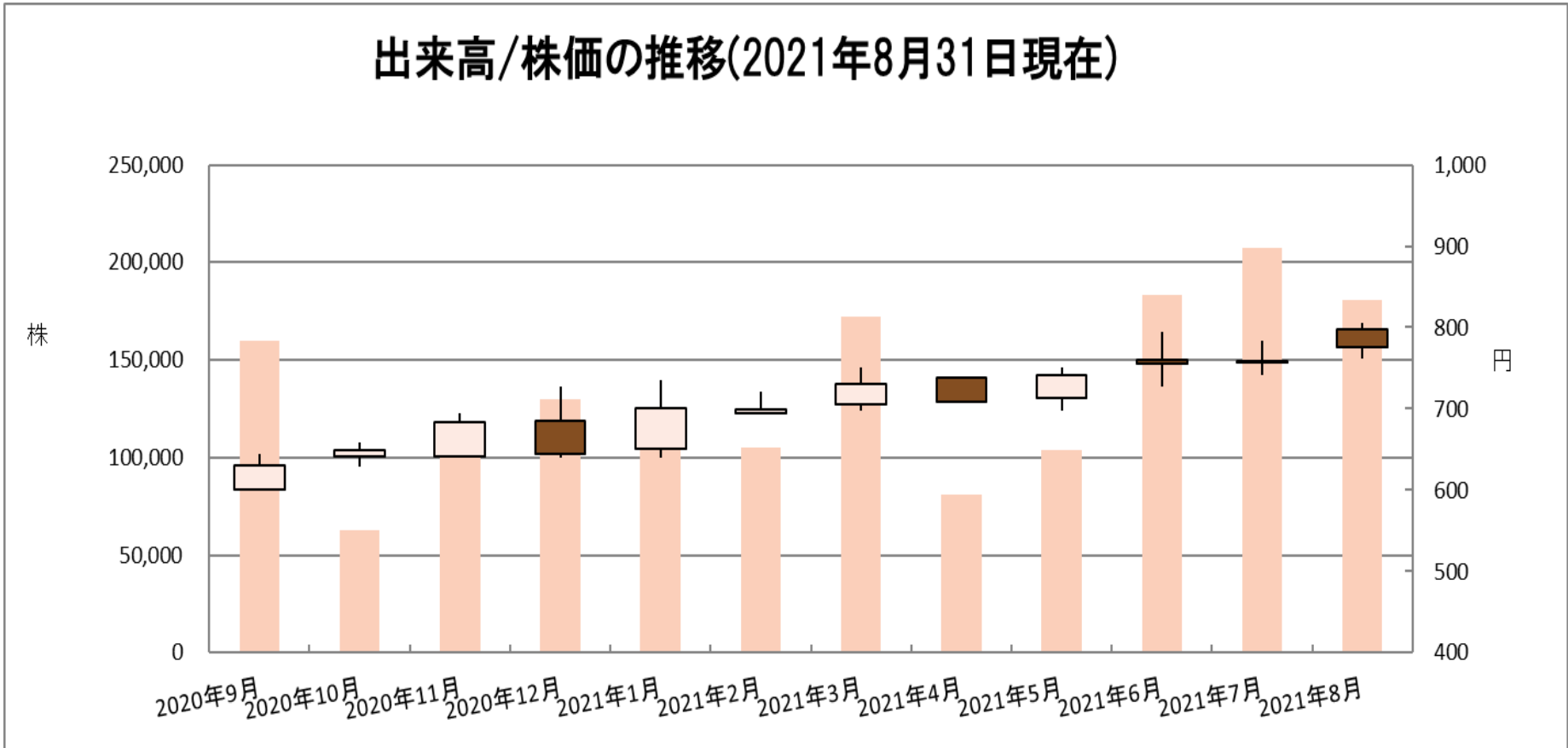
最優秀賞
RIKUさん（愛知県）
「みんななかよく」



5. 株 主 還 元

5-1. 株価チャート

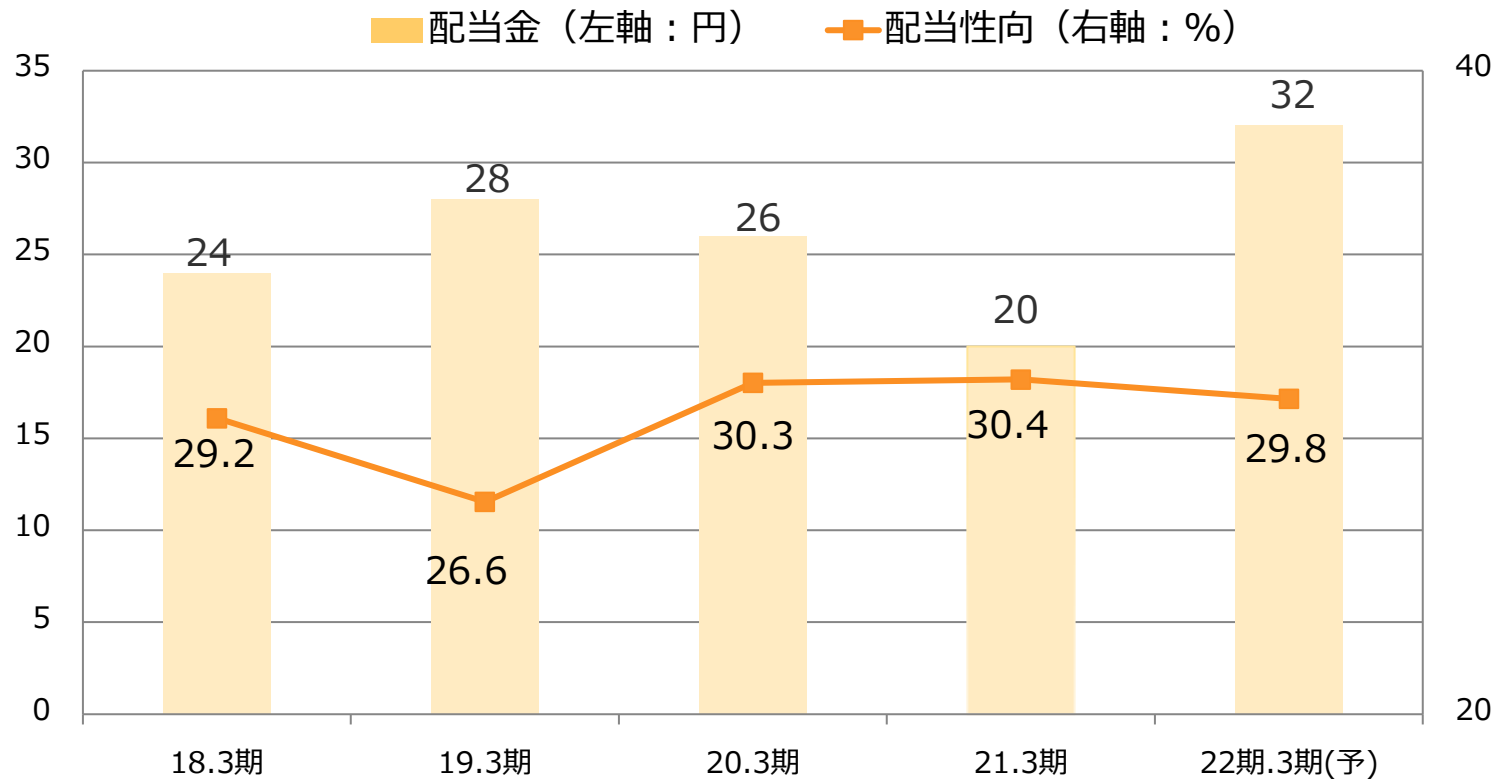
出来高/株価の推移(2021年8月31日現在)



◆ 配当利回り(会社予想) 4.12% (178位/東証一部1852社 8月31日時点)

※Yahoo!ファイナンス 配当利回り(会社予想) : 株式ランキングより

5-2.配当について



◆連結配当性向を30%程度を基本とし検討
2021年3月期は1株あたり20円を配当

◆2022年3月期：過去最高の1株当たり32円を予定

6. まとめ

6.まとめ 100年生き抜く企業へ ～ステークホルダーから選ばれる企業～

◆強みと特徴

- ・ 高い梱包技術を有した総合物流企業
- ・ 高物流品質企業

◆業績と事業展開

- ・ 収益体質改善、利益水準向上へ
- ・ 中期経営計画2年目の利益目標実現を目指す
- ・ 海外事業の拡大

◆株主還元

- ・ 配当利回り 4.12% (8月31日時点)
- ・ 2022年3月期は、過去最高の1株当たり32円を予定

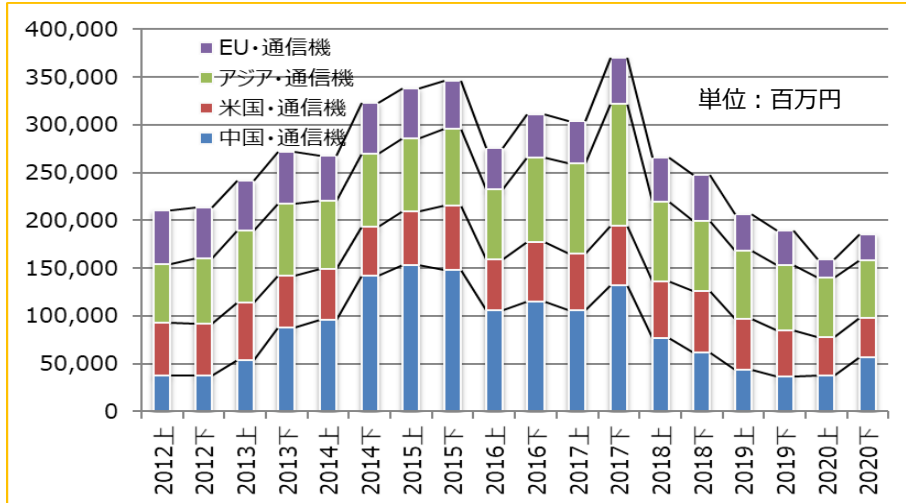
※ 当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づき記述したものでありますが、この記述は、将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により異なる可能性があることをご留意ください。

問い合わせ先：企画部 03-3471-0463

7. Appendix

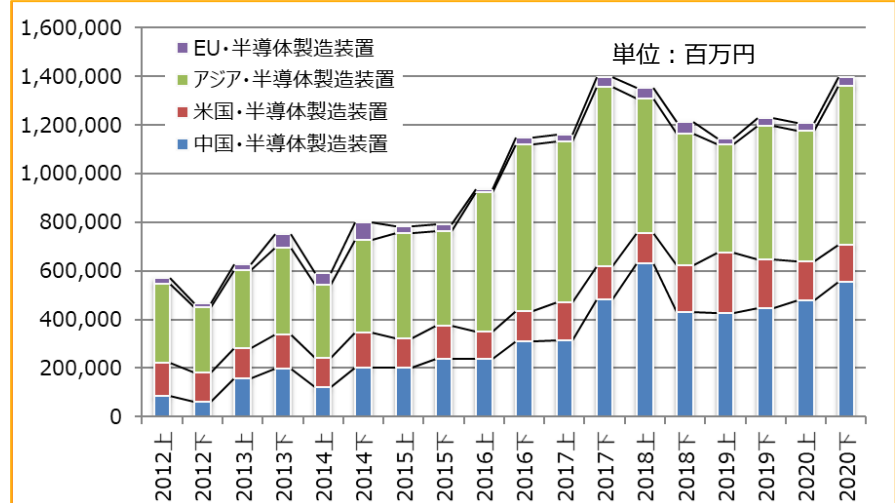
【参考】外部環境(1)

品目別輸出金額 年別推移 (通信機)



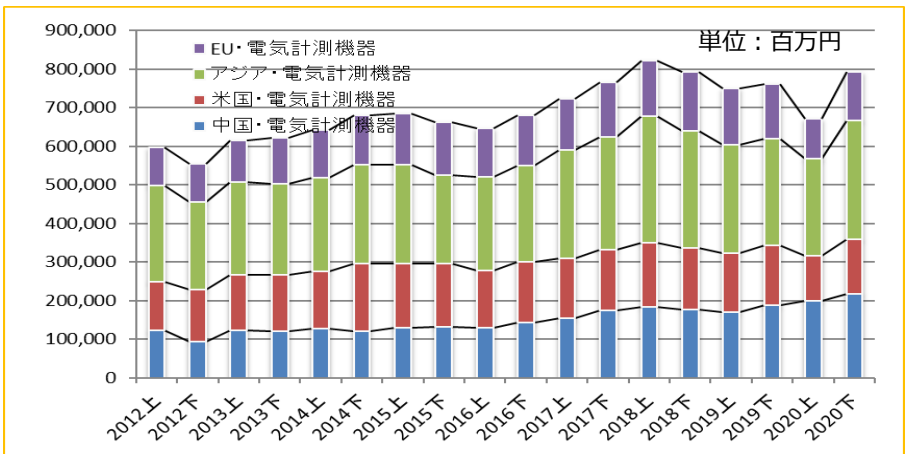
※通信機…レーダー、航行用無線機器及び無線遠隔制御機器
電話機（携帯回線網用その他の無線回線網用の電話含む）など

品目別輸出金額 年別推移 (半導体製造装置)



※半導体等製造装置…半導体ボール又は半導体ウエハー製造用の機器
半導体デバイス又は集積回路製造用の機器

品目別輸出金額 年別推移 (電気計測機器)

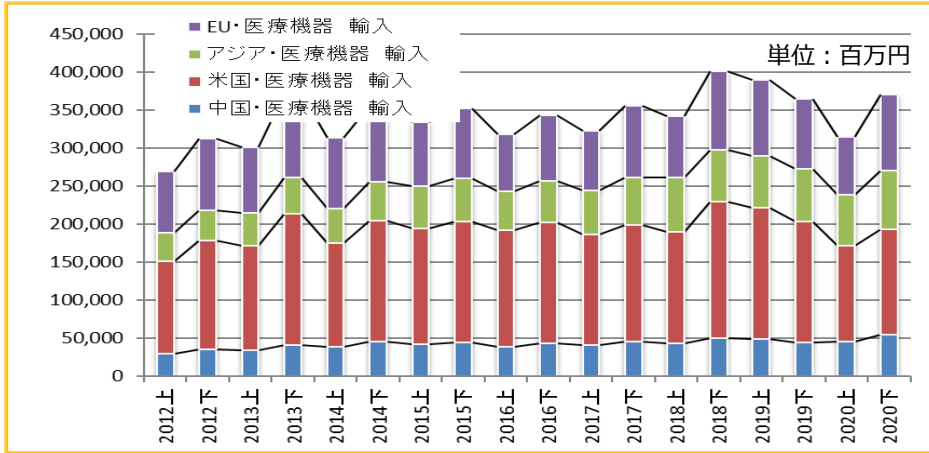


※電気計測機器…マイクロメーター、電気用計器など 出典：財務省貿易統計より

- 通信機は米中貿易摩擦や円高の進行を背景に、2018年上期頃より減少傾向が続く。
- 電気計測機器は2018年上期より減少傾向にあったが、2020年下期には増加に転じている。
- 半導体製造装置は2020年下期において、ピークを迎えた2017年と同水準まで回復している。

【参考】外部環境(2)

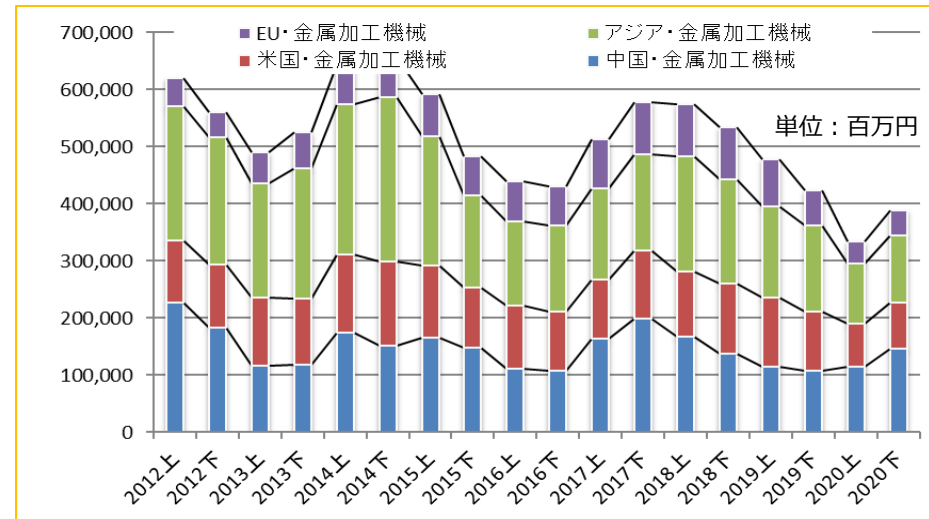
品目別輸入金額 年別推移 (医療機器)



- ・医療の高度化や高齢化に伴い、国内の需要は拡大傾向。
- ・2018年下期から減少傾向が続くものの、依然として高水準で推移している。

※医療機器…医療用または獣医用機器、診断用電気機器、エックス線などを使用する機器など

品目別輸出金額 年別推移 (金属加工機械)



- ・金属加工機械はシクリカルな業界動向の中で、2017年下期をピークにダウントレンドに入っているものの、2020年上期には底を打ち、アップトレンドへの転換が期待される。

※金属加工機械…旋盤、研削盤、金属加工用のマシニングセンターなど
その他の加工機械

【参考】個人投資家向けサイトのご案内

投資家の皆様に必要な情報は「個人投資家の皆様へ」のページに掲載されています。

今後も内容の充実を図るとともに、わかりやすく、最新の情報を発信して参りますので宜しくお願いいたします。

URL
<https://www.srt.co.jp/ir/investor/>

